北九州学術研究都市 2017-2018

KSRP

Kitakyushu Science and Research Park

公益財団法人 北九州産業学術推進機構〈FAIS〉

北九州学術研究都市とは

北九州学術研究都市は、「アジアに開かれた学術研究拠点」と「新たな産業の創出・技術の高度化」を目指し、理工系の国・公・私立大学や研究機関が同一のキャンパスに集積するという独自の試みとして、平成13年4月にオープンしました。現在、進出した大学が北九州学術研究都市の理念を共有して、先端的な科学技術、特に「環境技術」と「情報技術」を中心に活発な教育研究活動を展開しています。

北九州学術研究都市が目指すもの

大学等の『知』を活用した地域の産業・学術の振興

- アジアに開かれた学術研究拠点
- 新たな産業の創出・技術の高度化

新たな技術と豊かな生活を創り出す アジアの先端産業都市の実現
（北九州市新成長戦略の目標）

北九州学術研究都市整備事業

●整備の基本方針

北九州学術研究都市の開発は、周辺の自然環境や都市環境を活かしながら、先端科学技術に関する教育・研究機関の集積と良好な住宅街の供給を同時に行う『複合的な街づくり』として進めています。

●開発地域／若松区西部・八幡西区北西部

●開発総面積／約335ha

●計画人口／12,000人（昼間人口）住宅4,000戸

【土地利用概略図】

●整備スケジュール

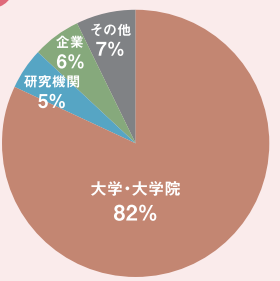
第１期事業（約121ha）　平成7年度～17年度※事業完了
　事業主体：（独）都市再生機構
第２期事業（約136ha）　平成14年度～29年度
　事業主体：北九州市
第３期事業（約68ha）　検討中
河川事業（約10ha）

北九州学術研究都市の昼間人口

（平成29年5月1日現在）

約3,400名

学　生		2,401名（うち留学生621名）
教　員	※専任教員のみ	165名（うち企業出身者15名）
研究員		191名（うち外国人研究員62名）



北九州学術研究都市の特色

理工系の大学・研究機関、研究開発型企業等を同一のキャンパスに集積

●国・公・私立大学（1学部4大学院）
　北九州市立大学国際環境工学部・大学院国際環境工学研究科
　九州工業大学大学院生命体工学研究科
　早稲田大学大学院情報生産システム研究科
　福岡大学大学院工学研究科
●研究機関（14機関）
●研究開発型企業等（46社）　（平成29年8月1日現在）

研究者・教員・学生相互の交流と連携

●進出大学による共同研究、教員等の交流
●単位互換の実施
●進出大学による連携大学院の運営
　連携大学院カーエレクトロニクスコース
　連携大学院インテリジェントカー・ロボティクスコース

進出大学の教育・研究理念の共通化

●先端的な科学技術分野での教育・研究の展開
●産学連携の促進
●起業家精神の育成
●アジアの学術研究拠点の形成

キャンパスの一体的な運営、施設の共同利用

●学研都市進出大学の代表者で構成する「キャンパス運営委員会」による共同事業の企画・立案
●図書室、情報処理施設、利便施設の共同利用

北九州学術研究都市の管理・運営

公益財団法人 北九州産業学術推進機構（FAIS）

FAIS組織図

理事長
副理事長
専務理事

●キャンパス運営センター
　●総務企画部
　北九州学術研究都市内にある共同利用施設の管理・運営を行うとともに、進出大学間の連携・交流を促進し、学研都市の一体的な運営を行っています。

●中小企業支援センター
　●中小企業・ベンチャー支援部
　中小企業の経営革新・創業をワンストップで支援しています。創業や経営の改善・革新を目指す個人や中小企業の取り組みを支援するため、相談窓口、専門家派遣等のほか北九州知的所有権センターやインキュベーション施設である北九州テレワークセンター等の運営も行っています。

●産学連携統括センター
　●産学連携部
　●事業推進担当部
　先端科学技術分野の研究を行う大学・研究機関の知的基盤を活用した産学共同研究や技術移転のコーディネートを行い、産業技術の高度化や新産業の創出を促進しています。

●ものづくり革新センター
　従来型支援（市内企業・大学が提案・実施するプロジェクトの競争的資金獲得・運営等）に加え、激変するものづくりに対応すべく、「革新的ものづくり」を実現するプロジェクト創出、研究会運営等を通して、市内企業の産業競争力を強化支援します。

●半導体・エレクトロニクス技術センター
　●開発支援部
　半導体・エレクトロニクス産業の振興のため、新たなアプリケーションの創出を目指し、ベンチャー・中小企業等の支援、産学連携の促進、人材育成等の事業を展開しています。なお、新商材の創出を目指すベンチャー・中小企業等支援の一環として、設計・評価・解析環境の提供も行っています。

●自動車技術センター
　自動車産業において重要な技術分野を中心に自動運転・安全運転支援や、人工知能（AI）の技術応用先の研究をテーマにした研究会や連携大学院を通じた次世代の実践的な人材育成に取り組んでいます。
　また、地元自動車関連企業の技術課題を解決するために、軽量化をテーマにした技術支援を行っています。

●ロボット技術センター
　●ロボット開発支援部
　北九州地域のロボット産業振興を目的とし、北九州ロボットフォーラムの運営をしています。ロボット技術の調査、開発から実証までのコーディネートや学研都市内の大学とロボット関連企業との共同研究開発を通して、ロボットの技術開発および実証の拠点化を進めています。また、市内企業へのロボット普及を推進するための導入支援事業や人材育成活動を実施しています。

●国家戦略特区ライン
　介護ロボット分野で北九州市が国家戦略特区に指定されたことを受け、ロボット技術等による介護職員の負担軽減と介護の質の向上を目的として、介護ロボット等の導入・実証を行っています。また、介護ロボット開発コンソーシアムを運営し、介護ロボット等の開発や改良の支援を行っています。

FAIS
Kitakyushu Foundation for the Advancement of Industry, Science and Technology
FAIS

Kitakyushu Foundation
for the Advancement
of Industry, Science and Technology

●理　事　長／松永　守央
●役員等構成／【学　界】学研都市参画大学副学長
　市内理工系大学長等
　【産業界】商工会議所等経済団体
　【行　政】北九州市、福岡県

進出研究機関

産学連携施設が充実する北九州学術研究都市には、大学だけではなく研究機関および半導体設計関連企業を中心とした研究開発型企業の進出も進んでいます。また、北九州学術研究都市の大学シーズを活用した起業も活発で、学研都市発ベンチャー企業も18社入居しています。

平成 29 年 8 月 1 日現在

	研究機関等の名称	入居場所	研究内容
1	早稲田大学 情報生産システム研究センター	早稲田大学 情報生産システム 研究センター	自動車エレクトロニクスおよび LSI 分野において国際的水準の高度な研究、人材育成
2	中国上海交通大学 北九州研究室	早稲田大学 情報生産システム 研究センター	ユビキタス情報処理先行技術、産業用ロボット・制御システム、アンビエント SoC 技術等に関する研究
3	韓国科学技術院（KAIST） ー釜山大学校 北九州研究室	早稲田大学 情報生産システム 研究センター	ロボット産業・エネルギー産業・自動車産業の産業高度化に関する研究開発
4	九州工業大学 先端エコフィッティング 技術研究開発センター	九州工業大学	技術のエコフィッティングを指向した技術の高度化・付加価値化を目指す研究開発および教育
5	北九州市立大学 環境技術研究所	北九州市立大学	地球環境の変化と地域社会の要請に応えるため、環境、エネルギー、バイオマテリアル、情報、ロボット技術等の分野の研究と技術開発を戦略的に推進
6	北九州市立大学 技術開発センター群	北九州市立大学	北九州学術研究都市における技術開発機能を高め、その成果の事業化を推進することを目的に、今後有望な産業シーズを開発
7	公益財団法人 福岡県リサイクル総合研究 事業化センター	産学連携センター	資源循環型社会の構築に向けて、産学官民が共同で取り組みながら環境・リサイクル技術と社会システムを併せた研究
8	福岡大学 産学官連携センター 北九州産学連携推進室	産学連携センター	環境産業に関する企業のニーズ、自治体の政策およびシーズをマッチングさせ、産学官連携による環境産業振興を展開
9	一般社団法人　HiBD 研究所	産学連携センター	再生可能資源、炭酸ガスを原料とする液体燃料製造の研究開発
10	現代美術センター CCA 北九州事業所	情報技術 高度化センター	マルチメディアコンテンツの創造に向けた情報通信による表現技術の研究・開発、大学と連携した人材育成
11	一般財団法人 ファジィシステム研究所	技術開発交流 センター	ファジィ理論を応用した情報処理システムに関する試験研究
12	伊国フィレンツェ大学 国際プラントニューロ バイオロジー研究所 北九州研究室	技術開発交流 センター	新規高輝度 LED 利用による省エネルギー・超高集約型植物栽培システムの開発
13	九州工業大学 次世代パワーエレクトロニクス 研究センター	共同研究開発 センター	省エネルギーの推進、電力の高度利用技術、自然エネルギーの活用等、低炭素社会の実現に貢献するパワー半導体を中心とした次世代パワーエレクトロニクス技術の研究
14	北九州市環境エレクトロニクス 研究所	事業化支援 センター	次世代パワー半導体の設計、信頼性研究、電源の小型化等の研究および大学、企業等との共同研究・人材育成

進出企業

平成 29 年 8 月 1 日現在

	入居場所		企業名	事業内容
1	産学連携センター		㈱インフォグラム	システム開発、パソコン教育サービス、インターネットサービスおよび前各号に付帯関連する一切の業務
2			石田特許事務所	特許、および実用新案・意匠・商標登録の出願手続の代理、特許出願等に関するコンサルティング
3		●	㈱ヒューマンリソース・デベロップメント	ハイパワー LED を有する高出力投光機および高性能ヒートスプレッダーの研究開発、事業化や人材育成等に関するコンサルティング
4		●	㈱ラステディアス	LED 照明灯の研究・開発
5			KOA ㈱	電子部品、センサ素子、センサモジュールに関する情報収集、情報交換ならびに産学共同開発
6			プラントメイク RISE ㈱	焼却炉設備におけるコーティング剤開発、3D スキャナーによる構造計算ソフトの開発
7	共同研究開発センター		㈱セキュリティ情報研究所	システム開発、システム保守（24 時間 365 日）
8			㈲ K2R	触媒反応を利用したラジカル種含有の水の生成装置の研究開発
9	情報技術高度化センター		㈱ Windy	病院、薬局で使用するソフト開発、自動車工場での作業分析ソフトの開発
10			三島光産㈱	薬剤自動除包分配機および調剤薬局関連機器の開発、製造
11	事業化支援センター	●	㈱ジオクラスター	都市計画・環境に関するコンサルタント、環境製品の開発販売
12		●	㈲ビー	画像処理システムおよびソフトウェアの研究開発
13		●	実研開発㈲	臨床工学教育機材、光伝送生体信号測定装置の開発・販売
14		●	㈱ブラテック	Web システム開発、アカデミックソリューション事業
15		●	㈱ミックステクノロジーズ	Actvila（アクトビラ）対応ブラウザ、BML 対応ブラウザ開発販売
16		●	RoboPlus ひびきの㈱	メカトロニクス設計・製造および販売、コンサルタント業
17			㈲ OHG 研究所	臨床検査および臨床検査技術の研究開発、生体試料分析
18			博通テクノロジー㈱	無線センサネットワークによる照明節電制御システムの開発
19			ひびきの会計事務所	山口公認会計士・税理士事務所（公認会計士業務）
20		●	㈱ STEQ	LED 高放熱、低コスト実装技術の開発と事業化
21		●	日本プライスマネジメント ㈱	化学物質のリスク管理ツール開発
22			㈲ Seed	医療機関内の物流管理システムの開発
23			㈱ AK システム	半導体製造装置製作技術等の新産業分野への応用研究開発
24			カルソニックカンセイ㈱	北九州市（環境エレクトロニクス研究所）との共同研究
25			㈱ ITS	半導体集積回路等電子部品の研究開発
26		●	㈱ Key Word Lab	教育支援システム開発、Web システム開発
27		●	アーティックス㈱	フィンテックや人工知能に関する研究開発、コンピューターソフトウェアの研究開発
28		●	㈱石炭灰総合研究所	改質フライアッシュコンクリートの製造システムに関する研究開発
29			㈱豊光社	分子接着技術を用いた曲面配線技術および高輝度・高信頼性LED照明の研究開発
30			㈱ラボ（起業予定）	デザインと製造設備をクラウドで繋ぐ無人ロボット工場の研究開発
31		●	華榮通商㈱	中国に応用できる環境技術、環境関連型製品の研究開発
32	技術開発交流センター		㈱シキノハイテック	半導体設備の設計 / 製作 / 調整、LSI 回路設計 / レイアウト等
33			吉川工業㈱	RF-ID に関する研究開発事業
34			㈱C＆Gシステムズ	金型設計・加工用 CAD/CAM ソフトウェア開発
35			シャボン玉石けん㈱	無添加の化粧石けん、家庭用洗浄剤、消火剤などの製造販売
36			㈱トリコ	電気部品の開発・修理
37		●	㈱環境フォトニクス	植物育成用ＬＥＤ光源等の研究・開発・販売
38		●	㈱FILTOM	プラセンタエキス（豚胎盤液）を使った化粧品の開発・製造・販売
39			㈱パラマ・テック	一過性意識喪失発作の原因診断を可能とする心電図・血圧同時連続長時間記録計の研究開発
40			アイシン精機㈱	画像認識・空間認識、車両制御等の要素技術開発
41			日清紡ホールディングス㈱	自動車の先進運転支援システム（ADAS）におけるセンサーおよびこれらのフュージョンに関する研究開発
42		●	ひびきの電子㈱	電界共振型生体センシングおよびセンシングデータ解析システムの開発
43			㈱コイシ	実験と測定
44		●	㈱EnH Japan	バイオ・環境関連ナノ新素材および計測機器の研究開発
45			京都電子工業㈱	新規センサー製作の技術要素確立のための試作・評価
46			（一社）無人機研究開発機構	無人機全般について調査、研究および技術向上について知識の交換、情報提供等を行う場となることにより、無人機に関する研究進歩普及

※●印は学研発ベンチャー企業（18 社）

学研都市の進出大学、研究機関、企業および産学連携施設

1 北九州市立大学

国際環境工学部

■学生定員：1,000名
エネルギー循環化学科
機械システム工学科
情報メディア工学科
建築デザイン学科
環境生命工学科

大学院国際環境工学研究科

■学生定員：336名
環境システム専攻
環境工学専攻
情報工学専攻

2 九州工業大学大学院

生命体工学研究科

■学生定員：352名
生体機能応用工学専攻
人間知能システム工学専攻
生命体工学専攻

3 早稲田大学大学院

情報生産システム研究科

■学生定員：460名
情報アーキテクチャ分野
生産システム分野
集積システム分野

4 福岡大学大学院

工学研究科

■学生定員：32名
資源環境・環境工学専攻
エネルギー・環境システム工学専攻

※産学連携センター内

学生数および教員数

（平成29年5月1日現在）

大学	学部	修士	博士	研究生	特別研究学生	学生数計	教員数
北九州市立大学 国際環境工学部	1,140 (22)	ー ー	ー ー	4 (4)	0 (0)	1,144 (26)	88
北九州市立大学大学院 国際環境工学研究科	ー ー	303 (57)	64 (48)	2 (2)	0 (0)	369 (107)	ー
九州工業大学大学院 生命体工学研究科	ー ー	271 (24)	141 (50)	1 (1)	1 (1)	414 (76)	42
早稲田大学大学院 情報生産システム研究科	ー ー	422 (381)	47 (27)	0 (0)	0 (0)	469 (408)	33
福岡大学大学院 工学研究科	ー ー	4 (4)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (4)	2
合計	1,140 (22)	1,000 (466)	253 (125)	7 (7)	1 (1)	2,401 (621)	165

（ ）内は留学生数

A 産学連携センター

産学連携センター
1号館

産・学・官が手を組んで研究を進める中核施設

「公益財団法人福岡県リサイクル総合研究事業化センター」などの研究機関や、最先端の研究を行う企業、「福岡大学大学院工学研究科」が入居しています。また、100人程度まで対応できる会議室や研修室なども提供しています。

●貸研究室（31室）
●研修室、会議室（中・小）

F 学術情報センター

図書室
情報処理施設

情報を集積・発信するマルチメディアステーション

学術情報の収集提供（図書室）の機能、情報処理教育施設の機能を持つほか、キャンパス内に整備された大容量ネットワークを利用したさまざまな情報通信サービスを提供しています。

貸研究室賃料

◎2,000円／㎡・月（共益費別 500円／㎡・月）
（例：研究室50㎡の場合およそ150万円／年 光熱水費等別）

B 共同研究開発センター

産学連携センター
2号館

半導体微細加工技術の研究開発を支援する施設

企業や大学などが半導体製造関連分野の研究開発などを行う施設です。ICやMEMSの試作を行う研究開発機器の開放や研究室の提供などを行います。IC試作体験実習（CMOSプロセス）の受け入れも可能です。

●貸研究室（7室）
●共同利用のIC・MEMS向け微細加工装置群を設置
（イオン注入装置、電子ビーム描画装置、両面露光装置、高速熱処理装置（RTA）、ダイシングソー、ボンディング装置等）

C 情報技術高度化センター

産学連携センター
3号館

ネットワークや半導体設計に関する研究開発を行う施設

企業や大学などが高度な情報通信技術や半導体設計技術の研究開発などを行う施設です。コンテンツ制作や半導体設計を行う研究開発機器の開放や研究室の提供などを行います。

●貸研究室（26室）　●会議室
●半導体設計を行う研究開発機器等を設置

D 事業化支援センター

産学連携センター
4号館

大学発ベンチャー等の研究開発や事業化を支援する施設

一般事務系オフィスのほか、機械系と化学系の研究室や、小規模ブース単位で使用できる共同研究室を提供しています。

●貸研究室（36室）　●会議室（中・小）
●共同研究室（10ブース）

E 技術開発交流センター

産学連携センター
5号館

カーエレクトロニクス、ロボット分野等での新たな技術開発を支援する施設

北九州学術研究都市でのこれまでの成果を活用し、カーエレクトロニクス、ロボット分野等での技術開発を支援する施設です。また、学術研究等を目的に学研都市を訪れる方のための宿泊室も備えています。

●貸研究室（47室）機械系研究室、化学系研究室、IT系研究室
●宿泊室（9室）シングル8室、ツイン1室　●交流室（2室）　●会議室（中・小）

※FAISは、北九州市から指定管理者としての指定を受け、産学連携施設の効果的・効率的な管理・運営を行っています。

ご連絡・お問い合わせは
公益財団法人 北九州産業学術推進機構（FAIS）の各センターへ

【北九州学術研究都市ホームページ】　http://www.ksrp.or.jp/
【公益財団法人 北九州産業学術推進機構（FAIS）ホームページ】　http://www.ksrp.or.jp/fais/

北九州学術研究都市に関する全般的なお問い合わせ		E-mail / info@ksrp.or.jp
キャンパス運営センター	北九州学術研究都市内　産学連携センター1階 〒808-0135　北九州市若松区ひびきの2-1	TEL　093-695-3111 FAX　093-695-3010
大学の研究内容の活用、産学連携に関するお問い合わせ		E-mail / iac@ksrp.or.jp
産学連携統括センター	北九州学術研究都市内　産学連携センター2階 〒808-0135　北九州市若松区ひびきの2-1	TEL　093-695-3006 FAX　093-695-3018
「革新的ものづくり」活動の支援、その他研究開発プロジェクト等に関するお問い合わせ		E-mail / iac@ksrp.or.jp
ものづくり革新センター	北九州学術研究都市内　産学連携センター2階 〒808-0135　北九州市若松区ひびきの2-1	TEL　093-695-3006 FAX　093-695-3018
半導体関連の研究開発・人材育成等に関するお問い合わせ		E-mail / sec@ksrp.or.jp
半導体・エレクトロニクス技術センター	北九州学術研究都市内　技術開発交流センター1階 〒808-0138　北九州市若松区ひびきの北1-103	TEL　093-695-3007 FAX　093-695-3667
自動車分野における研究開発・人材育成等に関するお問い合わせ		E-mail / car@ksrp.or.jp
自動車技術センター	北九州学術研究都市内　技術開発交流センター1階 〒808-0138　北九州市若松区ひびきの北1-103	TEL　093-695-3685 FAX　093-695-3686
産業用ロボット導入支援・ロボット分野の研究開発・人材育成等に関するお問い合わせ		E-mail / robotics@ksrp.or.jp
ロボット技術センター	北九州学術研究都市内　技術開発交流センター1階 〒808-0138　北九州市若松区ひびきの北1-103	TEL　093-695-3085 FAX　093-695-3525
国家戦略特区ライン（介護ロボット開発支援）の研究開発・人材育成等に関するお問い合わせ		E-mail / robocare@ksrp.or.jp
国家戦略特区ライン	北九州学術研究都市内　技術開発交流センター1階 〒808-0138　北九州市若松区ひびきの北1-103	TEL　093-695-3046 FAX　093-695-3525
中小企業の経営、創業に関するお問い合わせ		E-mail / k_info@ksrp.or.jp
中小企業支援センター 中小企業・ベンチャー支援部経営支援課	北九州テクノセンタービル1階 〒804-0003　北九州市戸畑区中原新町2-1	TEL　093-873-1430 FAX　093-873-1450
中小企業・ベンチャー支援部ベンチャー支援課	AIM（アジア太平洋インポートマート）ビル6階 〒802-0001　北九州市小倉北区浅野3-8-1	TEL　093-513-5300 FAX　093-513-5323

ACCESS

【公共交通機関の場合】
◎ＪＲ折尾駅西口バス停 ―→ 市営バス ―→ 学研都市ひびきの ※所要時間約15分
◎北九州空港バス停 ―→ 西鉄バス ―→ 学研都市ひびきの ※所要時間約80分

【車をご利用の場合】
◎北九州都市高速道路　黒崎出入口　※北九州都市高速道路黒崎出入口からの所要時間約20分
◎小倉都心 ―→ 北九州都市高速道路 東田出入口 ―→ 黒崎バイパス 皇后崎ランプ ―→ 学研都市ひびきの
※所用時間小倉都心から約30分

平成 29 年 9 月発行